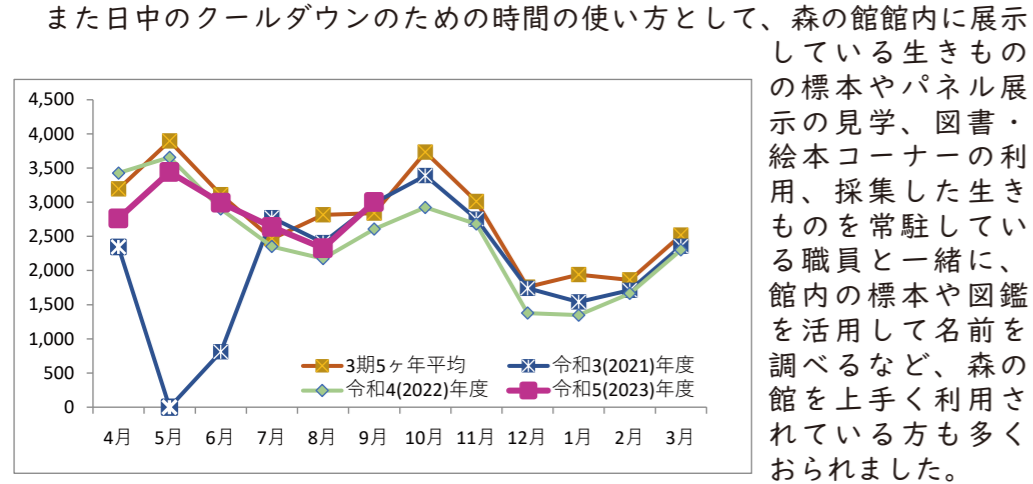


令和5年度上半期（4月～9月）の園内利用について

令和5年度は、5月8日新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類感染症へ移行されたことに伴い、社会経済活動が緩やかに持ち直しており、当施設でも一般来園者や団体（学校や幼保こども園等）の利用が、コロナ前の水準に戻りつつあります。利用者の傾向としては、屋外で生きもの観察や自然散策、写真撮影などを楽しむ方が多くおられました。

一方で、今年も夏の暑さが厳しく、熱中症予防サイト（環境省）の堺エリアの7月・8月の暑さ指数は、熱中症の危険が高い厳重警戒（暑さ指数28～31）となった日が、7月13日間、8月4日間、原則運動中止（暑さ指数31以上）となった日が、7月16日間、8月26日間と2か月間ほぼ毎日、屋外活動において、熱中症の危険が高い気温でした。そのため、7・8月の来園者の動向を見ると、まだ比較的涼しい開園直後や、閉園前の時間に生きもの観察や自然散策される方が増えた印象を受けます。



採集した生きものの解説



開園直後の生きもの観察の様子①



開園直後の生きもの観察の様子②

堺自然ふれあいの森では、FacebookとInstagramの2つのSNSを運用しています。Instagramでは季節の自然を、Facebookでは季節の自然に加えて、スタッフの日常やイベントのお知らせを発信しているので、ぜひフォローしてチェックしてください。



Instagram



Facebook



Instagramには旬の自然風景の写真を掲載しています♪

オリジナル缶バッジ or ポストカードプレゼント

ふれあいの森のInstagram登録 or 利用者アンケート記入 でプレゼントします。詳細は森の館のスタッフにお尋ねください。グッズが無くなり次第終了となります。

堺自然ふれあいの森

開園時間 9:00～17:30(3月～10月)・9:00～16:00(11月～2月)
休園日 月曜(祝日の場合は、翌日休み)、年末年始
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740

TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>

バス 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」
「公園墓地北口」下車 徒歩約1,200m
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ

車 阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「堺公園墓地」を目標にお越しください

発行 堺自然ふれあいの森 指定管理者(ふれあいの森パートナーズ)

ふれあいの森パートナーズは、(株)生態計画研究所・NPO法人いっちゃんクラブの連合体です。



堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第47号

発行：令和5年11月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

令和5年度上半期（4月～9月）の普及啓発活動 および団体受入について

1. 普及啓発活動①



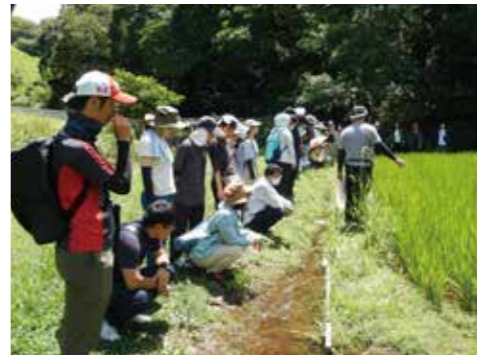
■2023年8月4日 堺市教員研修会

当施設では、堺市内の教職員対象の研修会を年4回開催しています。3回目の今回は、里山文化の体験をテーマに、草木染め体験と当施設が取り組む里山の保全管理の説明の他、薪割り体験も行いました。

草木染め体験は、今年の春先に園内で倒れた桜の枝葉を使って、ハンカチサイズの布を染めました。初めに草木染めの起源や歴史、草木染めの特性などの解説を行い、学校で実施する際の注意点や工夫なども紹介しました。桜の枝葉は、煮出すと赤色やピンク色に染まります。今回は、桜の色を体験してもらうとともに、どんぐりやススキなど、その他の植物で染めた布のサンプルも紹介しながら、植物ごとの色の違いについても解説しました。参加された先生方は、輪ゴムやビー玉などを使い、出来上がりを想像しながら模様付けを行っていました。

布を染色液に浸けてる時間を活用し、園内のガイドウォークも行いました。森や草地、田畑など里山らしい風景を見学していただき、森の中の落ち葉を堆肥にして田畑の肥料にしたり、間伐した枝を階段や柵に活用するなど、園内の資源を園内で活用する循環型管理の取り組みを紹介しました。研修の最後には、昔の暮らしの体験として、薪割りも行いました。

参加した先生からは、「草木染めを授業でやってみたい」「里山がどんな場所なのか知ることが出来た」「薪割り体験は、難しかった」「堺にもまだこんな自然が残っているのだと嬉しく思いました」「里山の暮らしや堺の自然について、SDGsの観点から子どもたちに伝えていくことも大事だと改めて感じた」等の、意見が寄せられました。



1. 普及啓発活動②

4月5日に堺市の公式PRキャラクター・ハニワ部長が森にやってきました。春の森を取材したあと、森の館でアゲハの幼虫や昆虫標本を観察しました。取材の様子は、ハニワ部長の公式SNSに掲載されました。また、堺市の4月13日～26日に堺市市役所1階で開催された、みどりの月間展示に出展しました。季節ごとに観察出来る生きものの紹介や、施設の取組などを写真やパネルを使って紹介しました。5月27日・28日には、南区の大蓮公園で開催された、OHASU FUN FESTAに出展し、施設紹介や大蓮公園で生きもの観察会を実施しました。2日間共に天気が良く、多くの方がブースを訪れ、バッタやチョウなど春の生きものを一緒に観察することが出来ました。

ふれあいの森では生きもの観察や農作物の収穫、クラフトなど、様々な里山の文化や自然を体験出来るイベントを実施しました。茶摘みと茶揉み体験では、園内の茶畑でチャノキの新芽を摘み取り、手で収穫した茶葉を揉んでお茶にする体験を行いました。



ハニワ部長の取材（4月5日）



緑の月間展示（4月13日～26日）



OHASU FUN FESTA(5月27・28日)



茶摘みと茶揉み体験（5月13日）

2. 団体受入れ状況

4～9月までの団体受入れは、小学校14件（内出前授業5件）、幼保・こども園25件、その他17件でした。小学校に対しては、「森の説明」「森の散策」「生きもの観察」「ワークショップ」の4つのプログラムの他、コロナ禍で中止していたバードコールや壁掛け作りなどのクラフト体験を再開しました。「虫をつくろう」のワークショップでは、昆虫の体の色や体の特徴について考え、グループごとにカードに書かれた昆虫の特徴から、オリジナルの虫を想像して描くプログラムを提供しました。幼保こども園に対しては、ガイドウォークと生きもの観察、木のペンダント等のクラフト体験を提供しました。その他の一般団体には、下見時に要望を聞き、団体の利用目的に合わせたプログラムを提供しました。

団体受入れは、施設独自で作成した「安全に利用いただくためのチェックリスト」を団体責任者と下見の際に共有し、来園時に安全に配慮しながら森での活動に取り組める環境を整えています。



小学校の校外学習の様子



ワークショップ「虫をつくろう」



こども園のガイドウォーク



小学校の出前授業

3. その他

普及教育活動①で紹介した教職員対象の研修会では、他にも8月に、堺市内で観察出来るどんぐりの紹介と、植物のタネなどを使った工作の実技の研修会を行いました。9月の堺市内の保育士対象の研修会では、昆虫や植物などを園児と一緒に観察する際の注意点や観察方法について解説しました。

7月には堺市環境局環境共生課と連携し、夜の生きもの観察会を開催しました。園路を歩き、夕暮れに活動するトンボなどを観察したあと、ライトトラップに集まる甲虫やチョウ類等を観察しました。



教員研修会



夜の生きもの観察会

令和5年度上半期（4月～9月）の里山環境の保全活動・普及啓発活動の担い手育成について

■大学生インターンの受け入れ

当施設は南部丘陵の担い手育成のために、大学生インターンの受け入れを行っています。インターン生たちには、園内の生物調査や整備作業だけでなく、周辺地域からの依頼に応じて小学校のビオトープ池の水質調査や生物生息状況調査などにも参加してもらいました。また、調査結果を元に、来園者が生きものについて楽しんで学べる展示の企画・作成も実践してもらい、実際に見学されたお客様からも非常に好評でした。



園内の林床整備作業



上神谷小学校ビオトープの水質調査



生物調査のデータまとめ作業



外来種のメリケンカルカヤの駆除



上神谷小学校ビオトープの生物調査



トンボの生態に関する展示の作成

■年間登録制イベント「里山kids」での森林保全活動の実施

小学校高学年（4年生～6年生）を対象とした年間登録制イベント「里山kids」の活動の中で、森林保全活動を実施しました。昨年度の活動の中で、子どもたちが園内で集めて播種したコナラのどんぐりやイロハモミジの種が、今年度は小さな実生として順調に育っていることが確認できました。そこで、今年度の5月に、これらの実生の生育を守るために、みんなでネザサの刈り取りと実生のマーキングを実施しました。植物の生育の様子などを野外で楽しく学びながら、森を若返らせる活動をみんなの手で実践することができました。



剪定ばさみの使い方の説明



刈ったネザサはきれいに集めます



コナラの実生



ネザサをハサミでチョキチョキ…



まだ小さな実生に目印をつけます



イロハモミジの実生